

シミュレーションモデル適用事例シート

大分類	交通施策評価	小分類	信号制御	シミュレーションモデル名	AVENUE			
概要	適用事例名	国道14号信号制御評価						
	目的・概要	東京・蔵前の国道14号での信号制御方式を評価するとともに、AVENUEの再現性検証(Validation)を行った。						
	本事例におけるモデル適用上の特徴	シミュレーション時間中に、対象ネットワーク外部から渋滞が延伸してくる影響を、シミュレーションで考慮した。						
対象範囲及びネットワーク	対象範囲	国道14号・両国1丁目～緑町1丁目(約500m)	対象時間帯	12:00～14:00				
	評価対象時期	平成4年						
	対象道路網	一般街路ネットワーク						
	ネットワーク規模	ノード数	13	リンク数	24	起終点ノード数	9	総トリップ数
		一般街路ネットワーク		交差点数	4	信号交差点数	4	道路区間数
		自専道ネットワーク		分岐部数		出入口数		道路区間数
	特記事項							
	(ネットワークの概略図面を添付)							
	入力データ	道路データ	単路部	リンク長、車線数、リンク容量、ジャム密度、自由流速度				
交差点部			飽和交通流率、右折専用レーン長、交差点内滞留台数					
合流部								
信号制御		設定パラメータ	信号現示、オフセット					
		作成方法	実測					
交通需要		設定単位	OD交通量					
		作成方法	交差点方向別交通量から作成					
		空間単位	端点から端点					
		時間単位	信号サイクルごと(約2分)					
		車両属性区分	小型、大型					
その他								
モデル設定項目	スキャン方式	periodic scan方式, 1秒/1スキャン						
	パケットサイズ	1台/パケット						
	経路選択原理	経路選択なし						
	特記事項							
再現性検証	キャリブレーション	パラメータ	各交差点流入部の飽和交通流率					
		方法	旅行時間および断面交通量が等しくなるようにパラメータを調整					
	検証方法	旅行時間、断面交通量を用いた検証						
	検証用データ取得方法	旅行時間は国道1号上り方向でナンバープレート照合。						
出力データ	国道1号上り方向旅行時間							
記入者	所属機関・部署	東京大学生産技術研究所 第5部 桑原研究室						
	電話	03-5452-6419	FAX	03-5452-6420	E-mail			
公表文献・資料等	AVENUE 研究グループ HP < http://tenhoo.iis.u-tokyo.ac.jp/~poepoe/avenue >							